

推薦理由概要書（発注者作成）

工事番号	
工 事 名	
施工者名	
該当する 推薦基準	創意工夫・地域への貢献等・高度技術・景観や環境保全 先進的な技術・施策への取組
(説 明)	
P 2 以降 (添付図、写真など)	

## 「推薦理由概要書」作成の留意事項

1. 工事施工者が作成する「アピール調書」等を参考に、作成してください。
2. 工事番号及び工事名は、契約書に記載されているものを、正確に記載してください。
3. 施工者名は、株式会社、有限会社なども含め、正しく記載してください。
4. 該当する推薦基準は、5つの基準の中から、発注機関として最も推薦したい**1項目を選択**し、○印を付けてください。（1工事1項目）
5. 説明文などでは、その取り組みの内容だけではなく、その取り組みが、どのような効果や結果をもたらしたのかを簡潔に示してください。

具体的な効果の例としては、

- 「創意工夫」については、品質の向上、工期の短縮、メンテナンス性の向上など。

ただし、複数の創意工夫を行なっている場合は、最も効果を発揮した内容のみを記載してください。記載例「創意工夫（工期の短縮）」  
（複数の工夫であっても、効果がひとつであれば複数記載可）

注）また、創意工夫の結果が、他の推薦基準の効果や結果に合致する場合は、該当する基準で推薦するようお願いいたします。

令和5年度より地方機関の候補者から表彰を仮決定としていますが、可能な範囲で各推薦基準による受賞バランスの配慮をお願いします。

特に「景観・環境」は例年推薦数が少ない状況であるため、「景観・環境」による候補選定を検討願います。

今後は、「高度技術」も減少となる可能性もあるため配慮をお願いします。

- 「地域貢献」については、周辺住民や施設利用者等へ果たした役割、今後の事業継続・推進への影響など。

- 「高度技術」については、導入した技術の成果としての施工精度の高さなど。  
構造物の規模・機能等、工種・工法の特殊性、自然的・社会的制約などにより、工事を施工するために高度な技術力を要する工事。

ICT 施工は、この基準に該当しないものとする。

- 「景観・環境」については、水質の保持や景観の改善効果など。
- 「先進的な技術・施策への取組（建設DX、脱炭素、SDGs等）」については、取組内容と効果などをお示しください。

6. 説明は箇条書きではなく、PR文章として記載願います。  
※記載については、可能な限り「現場条件→課題→対策→効果」の順で記載願います。
7. 枚数の制限はありません。必要に応じ写真、図面等を利用し作成してください。

## 推薦理由概要書（記入例）

工事番号	500第00-0号
工 事 名	0000000000工事
施工者名	00建設株式会社
該当する 推薦基準 (※)	<p>創意工夫（工期短縮※1）</p> <p>※1には、安全性の向上、作業環境の向上、メンテナンス性の向上、コスト削減等の創意工夫により得られる最も大きな効果内容を記載する。</p>
<p>（説 明）※説明は箇条書きではなく、PR文章として記載し、個別の工法の詳細な説明はその後に記載すること。</p> <p>該当する推薦基準 創意工夫（安全性の向上）</p> <p>&lt;例&gt;</p> <p>本工事は中央線の無いカーブ区間での斜面掘削を行う00工事であった。施工現場は、バス路線であり大型車の通行が多い中、終日片側交互通行で規制延長も000mと長く、大型車が円滑かつ安全に通行できる幅員の確保及び規制期間の短縮が課題であった。このため、受注者自ら各測点毎に幅員及び軌跡確認を行い、切取防護柵のコンクリート連続基礎の施工の際の掘削による大型車両の通行への影響を最小限とするため、基礎形状をアースオーガによる単独基礎へと変更を提案し、併せて施工機種を小型機械へ見直すことにより、切取防護柵の設置位置を約00cm山側に移動することを可能とし、大型車両の安全で円滑な通行を確保した。</p> <p>また、連続基礎での施工では、床堀・設置～取り壊し撤去まで約00日間の予定であった施工日数を00日短縮したことにより、苦情や事故も無く円滑に工事を完了させた。</p> <p>（工法等の説明）</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>注1）記載については、「現場条件→課題→対策→効果」の順で整理する。</p> <p>注2）創意工夫により得られた効果を記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工期短縮      00日間の工期短縮</li> <li>・ 安全性の向上   苦情・無事故により工事を完了させた。</li> </ul> <p>注3）現場状況・工法の説明図面・写真は次ページ以降に記載すること。</p>	

(添付図、写真など)

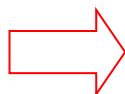
※該当する推薦基準に記載した創意工夫の内容を記載してください。

(複数の工夫であっても、効果がひとつであれば複数記載可)

基礎形状の変更

安全性の向上 or 工期短縮

掘削機械の小型化



完成写真など

完成写真など

## 推薦理由概要書（記入例）

工事番号	500第00-0号
工 事 名	0000000000工事
施工者名	00建設株式会社
該当する 推薦基準 (※)	地域貢献

（説 明）※説明は箇条書きではなく、PR文章として記載し、個別の工法の説明はその後に記載すること。

<例 1>

周辺環境への配慮が強く求められる00地区に近接した00工事であり、施工計画作成前に住民環境団体との意見交換を行い、可能な範囲で施工計画に反映させた。施工中は、定期的に意見交換の機会を設けるとともに、現場見学会を開催することで、工事に対する理解を得ることができ、その後の円滑な工事進捗へつながった。

<例 2>

二次離島での工事において、公共工事への理解と「土木」に対するイメージアップ・担い手確保のため、将来を担う子供たちに土木の工事現場にふれてもらうことを計画し、島内で初めての現場見学会「土木体験会」を学校との共同行事として小中学校全校生徒（00人）参加のもと〇回実施した。体験会では港や防波堤の役割についての勉強会や島内では見る機会が少ない起重機船の見学、今回工事では使用していない高所作業車等を島内に運搬しての乗車体験及び子供たちによるコンクリートの硬化実験を行い、児童・生徒・教諭及び保護者からも大変喜ばれ、感謝の手紙を頂くなど土木への興味と社会基盤としての公共工事への理解を得ることが出来た。また、土木体験会だけでなく、進捗毎に作業船の配置図・工事内容等を関係機関へ配布・掲示するなど、地域住民とのコミュニケーションを図ったことから、良好な関係が築かれ、円滑な施工を行うことが出来た。

（取組み内容の説明）

- ①
- ②
- ③

注 1）記載については、「現場条件→課題→対策→効果」の順で整理する。

注 2）周辺住民、施設利用者等へ果たした役割や今後の事業への影響等を記載する。

注 3）現場見学会等への開催数、参加者数については、添付図、写真と併せて具体的に記載する。

注 4）現場状況・工法の説明図面・写真は次ページ以降に記載すること。

(添付図、写真など)

〇〇地区について

意見交換会の  
様子

配慮した事項

配慮した事項

配慮した事項

現場見学会の様子

完成写真など

## 推薦理由概要書（記入例）

工事番号	500第00-0号
工 事 名	0000000000工事
施工者名	00建設株式会社
該当する 推薦基準 (※)	高度技術（ICT施工除く）

（説 明）※説明は箇条書きではなく、PR文章として記載し、個別の工法の説明はその後に記載すること。

構造物の規模・機能等、工種・工法の特殊性、自然的・社会的制約などにより、工事を施工するために高度な技術力を要する工事

<例>

大型魚礁の製作沈設を行う工事で、沈設計画は直径000mの範囲内に約0mの魚礁を0基沈設させる工事で魚礁間隔は最小00mと小さい。また、沈設場所は潮流が非常に速く、水深も000mと深いため沈設の精度向上が求められた工事であった。このため従来の工法では、施工誤差が大きく設計で求められる沈設精度を確保することが困難であるため、新技術である000工法を用いて施工することで、沈設精度を向上を図り、わずかな誤差0m以内（県の規格値00m）での沈設を完了させた。この000工法における沈設精度は非常に高く、今後更なる活用が期待される工法である。

（新工法等の説明）

- ①
- ②
- ③

注1）記載については、「現場条件→課題→対策→効果」の順で整理する。

注2）高度技術を採用したことによる施工精度の高さ、構造物への出来ばえ等への効果を記載する。

注3）新技術情報提供システム（NETIS[ネティス]）場合は、その旨記載すること。併せて資料を添付する。

注4）現場状況・工法の説明図面・写真は次ページ以降に記載すること。

(添付図、写真など)

〇〇工法について

従来工法との比較

現場状況

配慮した事項

完成写真

完成写真



## 推薦理由概要書（記入例）

工事番号	500第00-0号
工 事 名	0000000000工事
施工者名	00建設株式会社
該当する 推薦基準 (※)	景観・環境

(説 明) ※説明は箇条書きではなく、PR文章として記載し、個別の工法の説明は  
その後に記載すること。

県下でも有数の清流である〇〇川に砂防ダムを設置するものである。

施工は工事用道路から基礎掘削、コンクリート打設が長期間に及ぶことから、濁  
水対策としてフィルター材による濾過、レイタンス処理水の再利用を行った。

また工事前、工事中、完成後の水質調査を行い、工事が河川の水質に影響なかつ  
たことを確認するとともに、万が一、汚濁等が確認された場合の処置について施工  
計画書において規定し、速やかに対策が施せるよう準備していた。

これらの取り組みにより周辺環境への影響を最小限にとどめ工事を完了させた。

(工法・取り組み内容等の説明)

①

②

③

注1) 記載については、「現場条件→課題→対策→効果」の順で整理する。

注2) 環境、景観への負荷低減等の効果について記載する

注3) 上記のような環境対策を実施する場合は、万が一汚濁等が発生した場合の対策  
についても記載する。

注4) 現場状況・工法の説明図面・写真は次ページ以降に記載すること。

(添付図、写真など)

現場の環境条件を示す資料

環境対策 1

環境対策 2

試験の結果

非常時の対応

完成写真など

完成写真など

## 推薦理由概要書（記入例）

工事番号	500第00-0号
工 事 名	000000000工事
施工者名	00建設株式会社
該当する 推薦基準	先進的な技術・施策への取組（建設DX、脱炭素、SDGs等）

（説 明）※説明は箇条書きではなく、PR文章として記載し、個別の工法の詳細な説明はその後に記載すること。

<例>

本工事は、面積〇.〇haの区画整理工事を行うものである。

現地測量で得られたデータをもとに、地形が視覚的にわかる3D図面を作成し、運土計画の再計算を行った結果、運土量が大幅増となることが判明した。当初の工程では工期内完成が困難となることが懸念された。

このため、計画区画を現場内運土により仕上げる必要があり、運土計画作成のための現地測量は非常に重要となるが、測量機器に最新式ナビ「杭ナビ」「快速ナビ」を導入して、現地標高の確認と平板測量を作業員1名で行うことを可能にし、効率的かつ的確な測量を行った。

現場施工では、ICT機械での施工を導入し、膨大な測量手間及び丁張設置手間を省くことができた。

これらの取組により、「工期短縮」「人材不足解消」「生産性の向上」が図れ、併せて「施工効率および施工精度の向上」を実現し工期内に完成することができた。

（取組結果等の効果説明）

①

②

③

注1）先進的な技術・施策への取組のために行った提案内容を記載する。  
・工期短縮・人員削減・精度確保・脱炭素等のため・・・を提案し実施した。

注2）先進的な技術（ICT施工）を採用したことによる施工精度の高さ、構造物への出来ばえ等への効果を記載する。

注3）短縮効果・削減効果等については、数値がわかる資料を提出する

注4）現場状況・工法の説明図面・写真は次ページ以降に記載すること。

(添付図、写真など)

工法説明など

従来との比較など

現場状況説明など

効果の説明など

説明図面・状況のわかる写真など